

メンタルヘルス通信



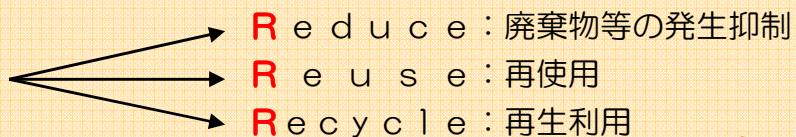
ココロ リフレッシュルーム Vol:59 2011・10・1

○ 3R推進月間

10月になりました。ふと気がつくと、2011年も残り3カ月となってしまいました。9月の中旬を過ぎた頃からぐっと気温が下がり、季節が一気に進んだように感じました。まさに駆け足で秋がやってきたようです。朝晩は冷え込んでいますが、みなさん体調を崩してはいませんか？そろそろ秋になるかな～でもまだ夏服を着る機会もあるかな～とのんきに構えていた私は、急な秋の訪れにあわてて半袖から長袖に衣替えをしました。北海道の秋はあっという間に冬へと移り変わっていきます。まだ早いようにも感じますが、冬を迎える準備もそろそろ必要になるかもしれませんね。

さて、みなさん10月は「3R推進月間」です。“3R”とは何の略称なのかわかりますか？3Rは、「Reduce：リデュース」、「Reuse：リユース」、「Recycle：リサイクル」の頭文字をとった言葉です。

3つの“R”とは？



この「3R」という言葉は、環境にできるだけ負荷をかけない循環型社会をつくるための重要な標語であり、考え方です。資源の有効利用、環境保全の施策の基本となっています。3R推進とは、「国民・事業者・行政が一堂に会し、廃棄物問題に関するそれぞれの知識や経験を交換するとともに、参加者一人ひとりが自らのライフスタイルを見直す機会を提供することを通じ、“3R”の推進に関する理解を深め、循環型社会の形成に向けた取り組みをより一層推進」するものとされています。2002年には循環型社会形成推進基本法という法律が成立しています。この法律において循環型社会とは、「廃棄物の発生を抑え、使用済製品が再使用・再生利用・熱回収などにより循環資源として適正に循環的に利用され、循環的な利用が行われないものについては適正に処分され、天然資源の消費が抑制される社会」とされています。私たち消費者は、TVなどの家電を処分する際にリサイクルにかかる費用を負担しています。それは家電リサイクル法によるものですが、この家電リサイクル法も廃棄物を減らし、資源の有効活用を促すためのものです。

3R推進のために、私たちが日頃心掛けることが出来るものもたくさんあります。例えばマイバッグの携帯や、再生紙や再生可能な素材の物を購入することも3R推進につながっています。地球の限りある資源を守るため日頃から意識して生活していきたいですね。10月は特に**3R**を意識して、簡単にできることから取り組んでみてはいかがでしょうか。

§：30 人間とペット

9月20日から9月26日までの7日間は、「動物愛護週間」でした。動物愛護週間は、「動物の愛護と適正な飼養についての理解を深める」ことを目的としています。TVでも動物愛護週間を呼び掛けるニュースが流れていましたが、みなさんは動物愛護週間だと気がついていましたか？みなさんの中にも、ご家庭で犬や猫、小鳥やうさぎなどの小動物をペットとして飼っている人がいると思います。私の暮らす地域でも犬の散歩をしている人を見かけることも少なくはありません。今回は、私たち人間にとって身近なペットとの関係について考えていきたいと思います。



○ ペットに対する認識

みなさん「生類憐みの令」を覚えていますか？内容を忘れていたとしても、言葉だけは耳に残っているのではないのでしょうか。生類憐みの令は、動物愛護を主旨とする法令の総称です。これは江戸幕府5代将軍徳川綱吉が、犬の虐殺者を死刑に処したのにはじまります。男の子どもが育たないことに悩んでいた綱吉に、僧が犬の愛護を勧めたことから、犬や馬の愛護にとどまらず、鳥獣やネズミなど極端に走り、人民を大変悩ませたのだそうです。自分の跡継ぎが育たないことに心を痛めた綱吉は、動物に癒しを求めたのかもしれませんがね。私たち人間と動物たちは古くからつながっているということがわかります。

“ペットブーム”という言葉が用いられるようになってから、数年が経過していますが、未だにペットブームの勢いは衰えることを知らず、その勢いを増し続け、私たち人間にとってペットは非常に身近な存在になっていると思います。近年では、ペット専門の洋服店やペット同伴で入店できるc a f eなど、ペットにまつわる市場も拡大しているそうです。昔は、犬や猫など動物の可愛い様子を楽しむ“愛玩動物”として飼われることが多かったようですが、現在では愛玩動物として“飼う”という意識よりも、家族成員と変わらぬ“家族”としてともに“暮らす”という意識が強まり、犬や猫を家族の一員として迎えるようになってきました。時代の流れとともに、ペットを飼うという意識からともに暮らすという意識に変わってきたようです。そのため、人間とペットの情緒的な結びつきは強まり、家庭におけるペットの存在、個人にとってのペットの存在はますます重くなっています。

今回は、ペットに私たち人間が求めること、そしてペットロス（ペットを失うこととその悲しみ）について考えていきたいと思います。



店頭には秋の味覚が顔をそろえ始めました。さんま、栗、ぶどう…季節のものはどれも美味しそうです！鮭の遡上のニュースも流れていました。10月2日は豊浦町で第21回豊浦豊漁まつりが開催されます！秋鮭のつかみどりや即売会のほか、秋鮭チャンチャン焼きなどが無料で味わえるようです。詳細は豊浦町HPよりご確認ください。秋を楽しみましょう！

*** 気になることがある方は、まずお電話下さい ココロ リフレッシュルーム 0142-76-4780**